

デジタル田園都市国家構想交付金【地方創生拠点整備タイプ】(R5年度分)の効果検証結果(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値)

No	① 事業名	② 実績額(円) (交付金充当額)	③ 事業概要	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値(累計値) ※令和4年度 終了時点	単位	実績値(増分) ※令和5年度 終了時点	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	サーフスポット機能向上 施設整備事業	62,726,457 (31,363,228)	シャワー室や更衣室等を備えた宮崎県木崎浜サーフインセンターの建設。	指標①	有料シャワーの売上	509	千円	520	地方創生に効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	スポーツキャンプの全県化・通年化・多様化に向けた誘致体制の強化や、大規模大会の誘致、スポーツツーリズムの推進などを戦略的に進めるとともに、隣県等との広域周遊を含むインバウンド誘客の強化や、本県の強みである5つのS(食、スポーツ、自然、森林、神話)を生かした観光振興等が求められる。	事業を継続	引き続き、施設運営に必要な収入を安定的に確保し、本県の代表的サーフスポットである木崎浜の魅力向上及び施設PRに努める。
2	屋外型トレーニングセンター整備事業	861,365,221 (1,722,730,443)	・スポーツを柱とした本県観光の振興・経済の活性化を図ることを目的に、県が主体となり、ラグビー、サッカー、陸上、トライアスロン等のトップアスリート等の合宿拠点として活用できる「屋外型トレーニングセンター」を整備する。 ・また、本施設では、スポーツにおけるICT活用の推進を図ることとしており、キャンプチームの戦術確認のほか、公開練習、大会等で県民やファンに対する映像配信などで利用可能なAIカメラの整備やWi-Fiの導入を行う。 ・デジタル技術の活用により、施設利用者(する人)や観覧者(みる人)の利便性を高め、本施設の情報発信を効果的に行うこと、施設の利活用、集客につなげる。	指標①	スポーツキャンプ・合宿、大会等での観客動員数	-	人	24,853	地方創生に相当程度効果が あった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	スポーツキャンプの全県化・通年化・多様化に向けた誘致体制の強化や、大規模大会の誘致、スポーツツーリズムの推進などを戦略的に進めるとともに、隣県等との広域周遊を含むインバウンド誘客の強化や、本県の強みである5つのS(食、スポーツ、自然、森林、神話)を生かした観光振興等が求められる。	事業を継続	屋外型トレセン等を活用したスポーツ大会・合宿等の積極的な誘致を図ることにより、全県化・通年化・多様化に取り組む。
指標②	スポーツキャンプ・合宿、大会等での延利用者数	-	人	30,638									
指標③	スポーツキャンプ・合宿、大会等と併せて実施する県産品等販売機会の新規創出件数	-	件	8									